

「重度外傷診療において診療時間が転帰に与える影響の解析」

1. 研究の対象

2007 年 8 月 11 日から 2015 年 7 月 31 日に大阪急性期・総合医療センター高度救命救急センターへ入院された重症鈍的外傷の方

2. 研究目的・方法

「目的」 重度外傷診療の診療時間が転帰に与える影響を検証すること

「方法」 重度外傷診療の診療時間と転帰との関係を統計解析手法により評価する

「研究期間」 承認日～2021 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、受傷機転、意識レベル、瞳孔径、対光反射の有無、収縮期血圧、脈拍、呼吸数、CT 所見、CT 撮影までの時間、止血介入開始までの時間、手術開始までの時間、覚知から CT 撮影までの時間、施行された手術、その他外傷診療経過において行った手技およびその時間、病院入退院日、ICU 退室日、ICU 転帰、院内転帰、人工呼吸器装着日数、28 日死亡、退院日 ADL、輸血量

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

1. 大阪急性期・総合医療センター 医長 山川 一馬

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター救急診療科

研究責任者：救急診療科 山川一馬

電話 06-6692-1201 内線 7244